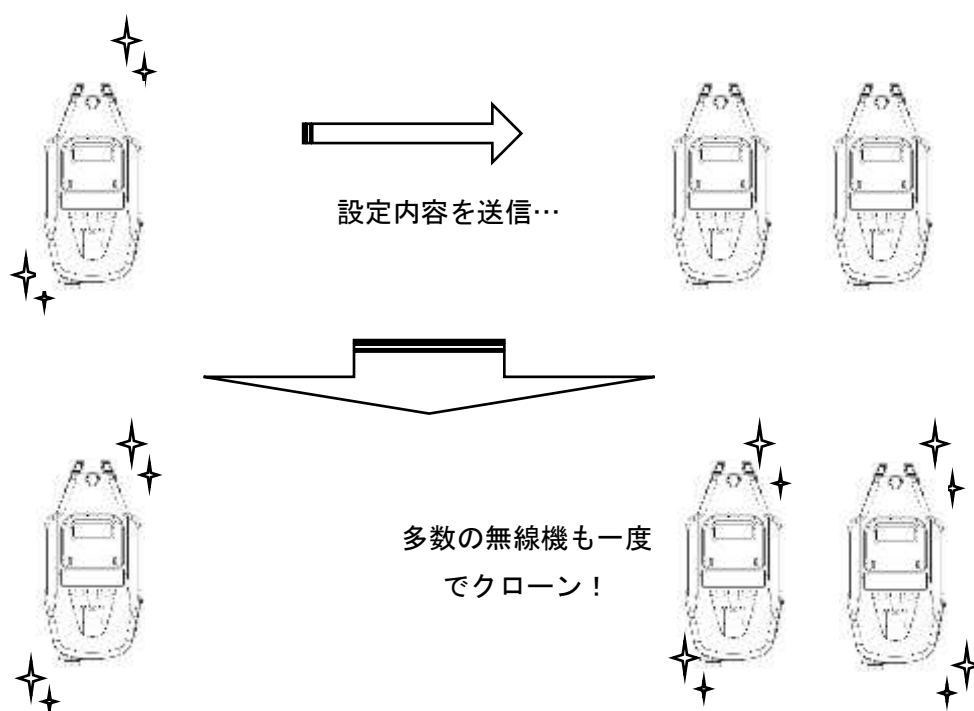
## エアクローンモード　説明

設定済みのDJ-PHM10（以下、親機）から他のDJ-PHM10（以下、子機）に、無線で親機のスイッチ状態、チャンネル、グループ、セットモードの全ての設定内容を送ることで、任意の台数の子機を一度に同じ設定にする（クローンする）ことができます。複数のDJ-PHM10を使い始めるときや、混信などで前の設定を変更するときにとても便利です。

**概要**

① エアクローン用の親機を１台、説明書に従って手動ですべての設定を済ませます。

② 親機も子機も減電池警告が出ていないことを確認して電源を切ります。親機も子機もなるべく近くに集めて強い電波で受信できるようにします。電池切れや電波環境が悪いと設定内容が正しくクローンされません。

③ 親機の電源キーとPTT（送信）キーの両方を約７秒間押し続けます。途中で起動音とセットモード設定に関する内容を音声ガイドして水色ランプが点灯しますが、そのまま押し続けます。

④ 「エアクローンモードです。このトランシーバーを～」と音声ガイドが始まり、ランプが青色と赤色の交互点滅を始めたら両方のキーを放します。音声ガイドは鳴ったままですが異常ではありません。

⑤ 子機も同じ操作をしてランプを青、赤の交互点滅にします。複数の子機を同時にエアクローンする場合は、全ての子機をこの状態にしてください。
⑥ 子機の準備ができたら、親機の PTT（送信）キーを 2 秒間押し続けます。「設定内容を無線通信します」と音声ガイドして、ランプが赤色点滅し、エアクローンが始まります。
⑦ 電波を検知した子機は「ピピ」と鳴り、ランプが青色に点滅します。クローンが終わると「自動設定が完了しました」の後に設定された通話モード、チャンネル、グループ番号が音声ガイドされ、ランプが緑色に点滅します。
⑧ 自動的に子機の電源が切れます。電源キーを約 2 秒間押して電源を入れ直します。
正しくエアクローンが完了した子機は、起動音声が「クローン設定」になります。
⑨ 全ての子機の設定が完了したことを確認し、親機の電源を切ります。

**注意**

子機のランプが緑色点滅から（電波を検知してから）自動で電源が切れるまでは、電源を切らないでください。設定内容が正しくクローンされない恐れがあります。誤って切れてしまった場合は、子機の電源を切ってリセット（初期化）をして初めからやり直してください。

**リセット：**PTT（送信）キー、アップキー、ダウンキーを同時に押しながら電源を入れ、ランプが白く点灯したらキーを放してください。「初期化しました。」と音声ガイドします。すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

スイッチによる設定よりもエアクローンでの設定内容が優先されるため、エアクローン後は設定スイッチの状態が説明書の記載内容と異なってしまっても異常ではありません。スイッチによる設定に戻したいときは上記のリセット（初期化）を行ってください。エアクローン設定のままスイッチ操作をしても無効ですし、「スイッチ操作はできません」旨の音声ガイドで警告されます。

以上

アルインコ（株）電子事業部